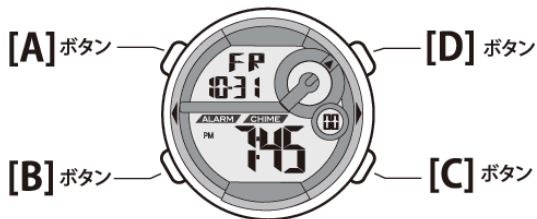




**CYBEAT**  
サイビート  
10気圧防水ウォッチ

## ACY14 シリーズ 取扱説明

### 操作ボタン位置参照図



※ボタン操作時の電子音のON/OFFは出来ません。

### 機能

- 時計 ■カレンダー機能(曜日・月・日表示) ■ストップウォッチ機能
- タイマー機能 ■アラーム機能(最大5つの時刻設定が可能)
- 時報機能 ■第2時刻表示機能 ■EL全面ライト
- カレンダーアラーム機能 \*指定日時にアラームが鳴る機能です。(最大8つの設定が可能)

### EL全面ライト

[C] ボタンを押すとELライトが約3秒間光ります。

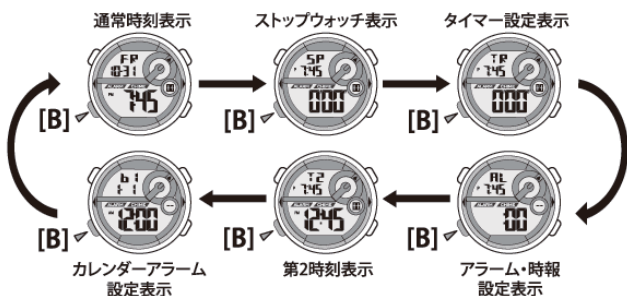
※注意: ELライトは電気を多量に消耗します。多用されると電池寿命が短くなります。必要最小限のご使用をお勧めします。

※注意: 電池の電圧が低くなると電圧不十分で作動しなくなります。ELライト点灯時に液晶表示が薄くなった表示が点滅したりします。故障ではありませんが、お早めに電池交換をしてください。



## 各モードへの切り替えについて

通常時刻表示から[B] ボタンを押すごとに下図の順に設定表示が切り替わります。



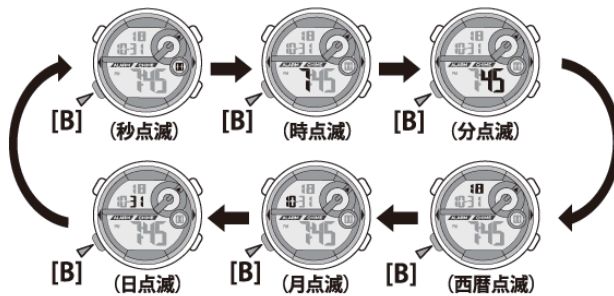
## 1 通常時刻表示

### 時刻設定の変更のしかた

- ① 通常時刻表示の状態[A] ボタンを約2秒間押します。「曜日」が「西暦」の下二桁に切り替わり[秒]が点滅します。[D] ボタンを押すと「秒」が[00]に戻ります。



- ② [B] ボタンを押すごとに、[秒]→[時]→[分]→[西暦]→[月]→[日]の順に点滅が切り替わります。



- ③ 点滅時に[D] ボタンを押して設定を変更します。[D] ボタンを押すと進みます。 ※長押しすると早送りできます。
- ④ ②・③の手順で、設定をする部分を点滅させて変更します。
- ⑤ 西暦は2000年(表示が00)～2099年(表示が99)まで設定できます。曜日は自動設定です。西暦・月・日の設定に合わせて自動で切り替わります。※うるう年も自動で切り替わります。
- ⑥ [A] ボタンを押して設定を終了します。

※注意: 点滅時に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。この時、途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して時刻設定を終了します。

### 12時間/24時間表示の切替えのしかた

通常時刻表示の状態[D] ボタンを押して切り替えます。午前に「AM」、午後「PM」が表示される場合は「12時間表示」です。「AM」「PM」の表示がない場合は「24時間表示」です。

## 2 アラームと時報機能

※約60秒間にも操作がない場合、自動的に通常時刻表示にもどります。

- アラーム設定が「入」の時、毎日設定時刻にアラームが約60秒間鳴ります。
- アラーム時刻は最大5つ設定できます。
- アラーム音は、どのボタンを押しても止まります。

### アラーム・時報設定表示

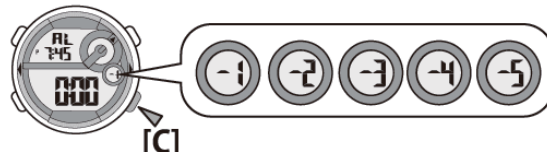
### アラーム時刻設定

現在時刻



- ① 通常時刻表示から[B] ボタンを3回押してアラーム・時報設定表示にします。
- ② [C] ボタンを押すとアラーム時刻設定画面を表示します。最初に画面右の小窓に[1]が表示されます。[C] ボタンを押すごとに[1]→2→3→4→5と表示されます。

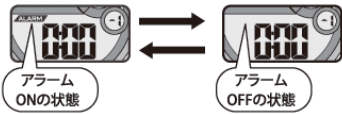
### アラーム時刻設定画面



- ③ 各アラーム時刻設定画面の時に[A] ボタンを押すと[時]が点滅を開始します。[D] ボタンを押して変更します。 ※長押しすると早送りできます。
- ④ 次のの時に[B] ボタンを押すと[分]が点滅を開始します。[D] ボタンを押して変更します。 ※長押しすると早送りできます。
- ⑤ ③④で時刻を設定したら、最後に[A] ボタンを押して設定を確定します。
- ⑥ 複数のアラーム時刻を設定する場合は、②～⑤の手順で行ってください。

## アラーム入・切 (ON/OFF)

アラームの入・切 (ON/OFF) は、各アラーム時刻設定画面ごとに行います。アラーム時刻設定画面の状態 [D] ボタンを押して切り替えます。[D] ボタンを押すごとに下図の順で設定が切り替わります。アラームをONにする時は、アラームマーク **ALARM** を表示させます。アラームをOFFにする時は、アラームマークを消します。また、③のアラーム時刻設定の操作をした際に、自動的にアラームがON設定になります。



※ON/OFFの設定は各アラーム時刻設定画面ごとに行ってください。

※アラームは設定時間が早い順に作動します。設定番号順ではありません。

※注意：時間の設定中に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。この時、途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

## 時報設定の入・切 (ON/OFF)

\*時報の時間は、設定変更できません。

時報設定が「入」の時、毎時正時にチャイム音が鳴ります。アラーム・時報設定表示の状態 [D] ボタンを押して切り替えます。[D] ボタンを押すごとに下図の順で設定が切り替わります。時報をONにする時は、時報マーク **CHIME** を表示させます。時報をOFFにする時は、時報マークを消します。



※注意：約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。この時、途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

## スプリットタイム(SPL)計測

◎スプリットタイム計測はスタートから各区間までの積算時間(合計時間)を計測します。

- [D] ボタンを押してスタートします。
- [A] ボタンを押すと画面にはスタートからその時点までのスプリットタイムが表示されます。
- 再度 [A] ボタンを押すと、積算時間の表示に戻ります。操作②③を繰り返し積算時間を計測します。
- 計測を終了する場合は、最後の計測記録を [D] ボタンを押してストップしてください。
- [A] ボタンを押すとリセットされ、表示が [0'00'00] に戻ります。

※注意：[B] ボタンを押して、通常時刻表示やアラーム設定表示などに切り替えても、ストップウォッチ表示でストップしない限り、または最大計測時間に達しない限り、計測は継続します。

## 3 ストップウォッチ機能

※約 60 秒間にも操作がない場合、自動的に通常時刻表示にもどります。

### 計測表示の見方

29分59秒99までは1/100秒まで計測します。30分以降の計測は1/1秒単位に切り替わります。

### 基本操作

- 通常時刻表示から [B] ボタンを1回押してストップウォッチ表示にします。
- [D] ボタンを押してスタートします。
- [D] ボタンを押してストップします。
- 再度 [D] ボタンを押すと計測を再開します。
- [D] ボタンを押してストップした状態で [A] ボタンを押すとリセットされます。

最大計測時間：23時間59分59秒

※最大計測時間に達すると自動で計測を停止します。

## 4 第2時刻表示機能

※約 60 秒間にも操作がない場合、自動的に通常時刻表示にもどります。

◎通常時刻表示とは別に第2時刻を約60秒間表示します。

### 第2時刻の時間設定

- 通常時刻表示から [B] ボタンを4回押して第2時刻表示にします。
- [A] ボタンを押すと [時] が点滅し、[B] ボタンを押すと [分] が点滅します。もう一度 [B] ボタンを押すと [時] の点滅にもどります。
- 点滅時に [D] ボタンを押して設定を変更してください。[D] ボタンを押すと進みます。※ [分] の設定は30分単位でのみ変更できます。※長押しすると早送りできます。
- [A] ボタンを押して設定を終了します。

※注意：第2時刻は、アラーム設定時刻と連動していません。アラーム設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。

※注意：第2時刻表示の時は、[曜日]と[日付]は表示されません。

※注意：時間の設定中に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。



## 5 タイマー機能

※約60秒間にも操作がない場合、自動的に通常時刻表示にもどります。

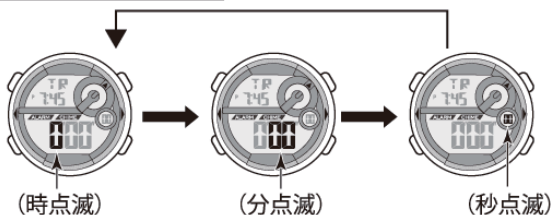
◎設定した時間が経過するとアラームが約60秒間鳴ります。

### タイマーの時間設定

設定時間範囲: 1秒~23時間59分59秒

- 通常時刻表示から[B] ボタンを2回押してタイマー表示にします。表示されている時間が現在設定されている時間です。表示がすべて「000°00」の場合、時間が設定されていない状態です。
- [A] ボタンを1回押すと「時」が点滅します。「時」点滅時に[B] ボタンをこじに「分」→「秒」→「時」の順に点滅が切り替わります。
- 点滅時に[D] ボタンを押して時間設定を行ってください。  
※長押しすると早送りできます。
- [A] ボタンを押して設定を確定させます。

#### タイマー時間設定時の表示

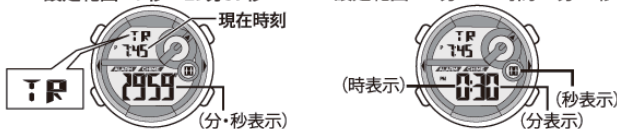


※注意: 時間の設定中に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

※タイマー作動中のデジタル数字の読み取り位置が設定時間範囲によって異なります。下図を参照してください。

設定範囲: 1秒~29分59秒

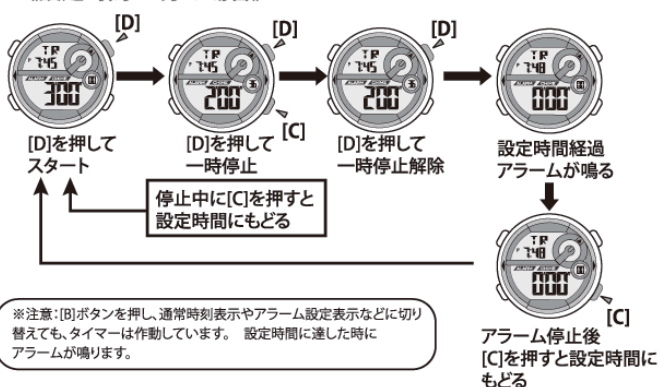
設定範囲: 30分~23時間59分59秒



### タイマーの使い方

- タイマー時間を設定したら、[D] ボタンを押してスタートします。一時停止はもう一度[D] ボタンを押してください。再度[D] ボタンを押すと一時停止を解除します。
- 途中で最初からスタートしたい場合は、一時停止の状態から[C] ボタンを押すと設定時間にもどります。
- 設定時間が「0°00°00」になると、アラームが約60秒間鳴ります。アラーム音はどのボタンを押しても止まります。
- 再度同じ設定時間を使用する場合は、[C] ボタンを押すと設定時間にもどります。
- 設定時間を変更する場合は、再度タイマー時間の設定を行ってください。

#### 《設定時間: 3分の場合》



※注意: [D] ボタンを押し、通常時刻表示やアラーム設定表示などに切り替えても、タイマーは作動しています。設定時間に達した時にアラームが鳴ります。

## 6 カレンダーアラーム機能

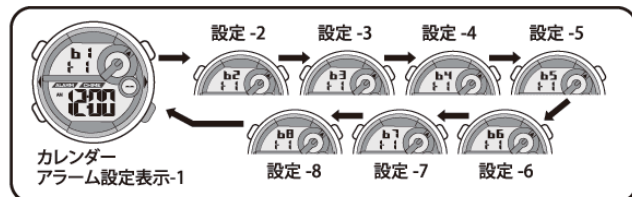
※約60秒間にも操作がない場合、自動的に通常時刻表示にもどります。

- ◎カレンダーアラーム設定が「入」の時、設定した日時にアラームが約60秒間鳴ります。
- ◎最大8つの設定が可能です。
- ◎アラーム音は、どのボタンを押しても止まります。

### 日時の設定

#### b1 カレンダーアラーム設定表示-1

- 通常時刻表示から[B] ボタンを5回押してカレンダーアラーム設定表示にします。画面上部に「b1」が表示されます。
- [C] ボタンを押すごとに「b1→b2→b3→b4→b5→b6→b7→b8」と表示が切り替わります。



- 各アラーム時刻設定画面の時に[A] ボタンを押すと「月」が点滅を開始します。この時に、自動的にアラームが入(ON)設定になります。[D] ボタンを押して変更します。  
※長押しすると早送りできます。



- 次に[B] ボタンを押すと「日」が点滅を開始します。[D] ボタンを押して変更します。



- 次に[B] ボタンを押すと「時」が点滅を開始します。[D] ボタンを押して変更します。



- 次に[B] ボタンを押すと「分」が点滅を開始します。[D] ボタンを押して変更します。



- 次に[B] ボタンを押すと右の小窓に「on」が点滅を開始します。[D] ボタンを押してアラームのON/OFFを設定します。



- 設定したら、最後に[A] ボタンを押して設定を確定します。

- 複数のアラーム時刻を設定する場合は、②~⑧の手順で行ってください。

※注意: 日時の設定中に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

### カレンダーアラーム設定の入・切 (ON/OFF)

※ON/OFFの設定は各アラーム時刻設定画面ごとに行ってください。

各アラーム時刻設定毎に入・切(ON/OFF)の設定を行ってください。各アラーム時刻設定(b1~b8)の状態ですべて[D] ボタンを押して切り替えます。[D] ボタンを押すごとに下図の順で設定が切り替わります。ONにする時は、「on」を表示してください。OFFにする時は、「—」を表示してください。



## 製品仕様

- 平均月差±60秒以内 (適正使用温度範囲5℃~35℃の場合)
- 使用温度範囲:5℃~35℃
- 電池寿命:新品電池を入れてから約1.5年  
(1日にELライト2回/アラーム1回使用目安)

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

- 使用電池:リチウム電池 CR2025 x 1個
- 製造国:中国

## 防水機能について

- 本製品は10気圧防水です。  
※注意:激しい水圧が掛かると水が入り故障の原因になる場合があります。

	一時的にかかる水滴 (洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
10気圧防水	○	○	×	×



**ボタン操作のご注意** 水中、または水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。